

9 廿日市市のサミット関連事業

(1) 「千年先も、いつくしむ。」プロジェクト

令和5年4月18日、G7広島サミットを契機として、宮島を長期的・継続的にプロモーションし、将来にわたり持続可能な観光地域として維持、向上させていくために、ロゴ、動画、ポスター、特設webサイトの作成などにより様々なPRを行うプロジェクトを始動した。

本プロジェクトは、先人から受け継がれてきた宮島の普遍的価値や魅力を広く国内外に向けて発信するものであり、県民会議歓迎レセプションにおけるメディアキットの配架や国際メディアセンター（IMC）、テレビCM、YouTube等における動画放映を実施した。



プロジェクト動画



メディアキット

(2) タブロイド誌「HERE. Magazine」の発行

サミット開催に向けて、インバウンド向けタブロイド誌「HERE. Magazine」を制作した。タブロイド誌は、県民会議主催歓迎レセプションの会場や市内各地に計1,000部配架し、市内全域の機運醸成や市の魅力発信を図った。



タブロイド誌

(3) 「G7広島サミットガイドブック 2023」への広告掲載

サミットを契機に、市の魅力を広くPRするため、G7広島サミットガイドブック制作委員会が制作するガイドブックに、市の観光や産業についての広告を掲載した。



「G7広島サミットガイドブック 2023」

(4) 宮島口旅客ターミナルにおける機運醸成

サミットの機運醸成のため、令和4年12月15日からサミット終了までの間、一般社団法人はつかいち観光協会と連携し、宮島口旅客ターミナルにおいて横断幕・懸垂幕の掲出及びG7広島サミットに関するパネルの展示を実施した。



はつかいち観光協会が製作した横断幕



宮島口旅客ターミナルで実施されたパネル展

(5) 横断幕・卓上のぼりの製作

サミットの開催に向けて、横断幕及び卓上のぼりを製作した。

令和5年4月中旬から、市役所正面玄関と宮島口旅客ターミナルに横断幕を掲示し、市民や観光客に対してサミットの開催周知を図った。

卓上のぼり 746 枚は、市役所、市民センター、学校等の市施設に設置するとともに、市内の商工会議所・商工会や観光協会を通じて、各商店街や店舗の窓口等にも設置し、サミットの開催周知及び歓迎機運の醸成を図った。



横断幕（廿日市市役所正面玄関）



市内各地に設置された卓上のぼり

(6) G7広島サミット外国語案内ボランティア活動

サミットの開催時期に合わせ、外国人来訪者の満足度向上を図ることなどを目的に、宮島口旅客ターミナル及び宮島棧橋旅客ターミナルでボランティアによる外国語案内を実施した。

（1日平均11人のボランティアが参加）

研修日	令和5年3月から4月にかけて 4回実施
活動日	令和5年5月17日、21日、22日、 26日～28日の6日間 (10:00～16:00)



外国人に案内する廿日市市国際交流協会ボランティア

(7) クリーンアップ活動

ア 宮島海岸のクリーンアップ活動の実施

サミットの開催に向け、各国首脳をはじめとする来島者をきれいな島でお迎えするため、令和5年4月17日から21日までの間、宮島の海岸を清掃した。陸からのアクセスが困難な砂浜などに小型船舶で上陸、事前調査を行った上で漂着したごみを回収した。同活動には約15人が参加した。



乳母ヶ懐での海岸清掃活動

イ 緒方さんと一緒に宮島を知ろう！きれいにしよう！

令和5年4月22日、フマキラー株式会社の主催により、宮島の清掃活動「緒方さんと一緒に宮島を知ろう！きれいにしよう！」が実施された。元広島東洋カープの緒方孝市さんとともに、市内の小学生約20組40人の親子が参加し、栈橋広場をスタートして要害山やもみじ谷公園、海岸等を清掃した。



山辺の小径での清掃活動

(8) 成人式でのマグボトル配付

令和5年1月9日に実施した「令和5年廿日市市成人式」において廿日市市消費者協会から記念品として配付したマグボトル約1,000個に、広島サミット県民会議のロゴを入れ、G7広島サミットの周知を図った。



マグボトルを手に記念撮影



記念品のマグボトル

(9) 市立保育園でのG7広島サミット給食の実施

子どもたちに世界を身近に感じてもらうとともに、国際理解を意識するきっかけとするため、全市立保育園15園において「G7広島サミット給食」を提供した。

各国の「おいしい」という言葉を学びながら世界の特色ある料理を提供するほか、G7広島サミット参加国の遊びの体験、世界の地図や食べ物を知ることで、楽しく世界の文化に触れる取組を各園で工夫して実施した。



令和5年5月9日のサミット給食



給食の先生による世界料理のお話

■ G7広島サミット給食献立

日付	国	メニュー
令和5年5月9日	カナダ	サーモングリル
	ドイツ	ジャーマンポテト
	日本	舞茸入り味噌汁
	イギリス	キャロットケーキ
令和5年5月17日	アメリカ	ロールパン
	イタリア	スパゲッティミートソース
	フランス	シーフードマリネ
	アメリカ	野菜入りマフィン

(10) 市立小・中学校での取組

ア G7広島サミット応援献立の提供

令和5年4月から5月にかけて、サミット開催に向けて機運を高めるとともに、子どもたちの世界への興味や関心を高めるため、全市立小・中学校27校（小学校17校、中学校10校）においてG7広島サミットの参加国に関連する料理を学校給食で提供した。給食時には各国の料理のクイズを実施するなど、サミットや世界を身近に感じるきっかけとなるような取組を実施した。



各国の応援献立



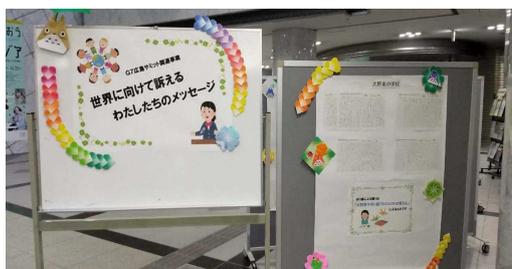
各国のメニューを基にした栄養教諭による食育指導

■ G7広島サミット応援献立の一例（廿日市地域）

日付	国	メニュー
令和5年4月20日	アメリカ	ポークビーンズ
令和5年4月25日	イタリア	スパゲティボロネーゼ
令和5年4月27日	ドイツ	ドイツ風セルフドッグ（カレーヴルスト、ザワークラウト）
令和5年5月11日	カナダ	サーモンのメープル風味焼き、ピースープ
令和5年5月17日	日本	ごはん、かつおの竜田揚げ、木の芽和え、豆腐汁
令和5年5月18日	フランス	チキンフリカッセ、フレンチサラダ
令和5年5月25日	イギリス	コロネーションチキンサンド、スコッチブロス

イ 世界に目を向けて訴える わたしたちのメッセージ

令和5年4月10日から28日までの間、全市立小・中学校27校において、G7広島サミットについて学ぶ授業を実施した。授業では、児童生徒が世界の様々な出来事について考え、世界平和、国際理解等のテーマの中から「世界の人々に訴えかけるメッセージ」として自分の考えを自身の言葉で表現した。また、令和5年5月10日から21日までの間、市役所市民ホールにおいて、各学校の代表者が自分の考えを発信する「メッセージの展示」と「メッセージ動画」を上映した。



市民ホールに展示された子どもたちのメッセージ



市民ホールで上映されたメッセージ動画

(11) 市民図書館での取組

令和5年4月28日から5月24日までの間、はつかいち市民図書館において、G7広島サミットに興味・関心を持ってもらうことを目的に、G7広島サミットに関連する書物151冊を集めて展示した。



はつかいち市民図書館での展示

(12) 市民センターでの取組

令和5年4月1日から5月24日までの間、四季が丘市民センターに「G7広島サミットコーナー」を設け、手作りのサミット参加国紹介文やサミット関連の新聞記事など、G7サミットに関する展示を実施した。



四季が丘市民センターでの展示

(13) 「G7広島サミット展 in はつかいち」の開催

令和5年4月24日から5月28日までの間、一般社団法人はつかいち観光協会及び株式会社中国新聞社の主催により、「G7広島サミット展 in はつかいち」が開催された。

サミット展は宮島口旅客ターミナル2階のはつかいち・みやじま情報センターで実施され、G7広島サミットに関するパネルの展示や平和への願いを記入できるメッセージボードの設置等が行われた。

期間中同センターには6,376人の観光客等が来場し、はつかいち観光協会が実施したアンケートでは「サミットについてよく知ることができた」や「広島で開催される意

義を知ることができた」などのコメントがあった。



はつかいち・みやじま情報センターでの展示



サミット展のポスター

(14) 廿日市市×モン・サン＝ミッシェル市 交流事業

令和5年5月15日から21日までの間、フランスのパリ市内の人通りの多い3か所で廿日市市に関するキューブ広告の設置及びポストカードの配布を行った。

本市とフランスのモン・サン＝ミッシェルは、令和6年に観光友好都市提携15周年を迎える。世界中が注目するG7広島サミットの開催期間に合わせてパリ市内で廿日市市の魅力をPRし、さらなる友好の発展と廿日市市への誘客促進を図った。



パリ市内に展示されたキューブ広告

(15) 「笑顔を寄付に変えるカメラ」の設置

令和5年5月23日から25日までの間、「笑顔を寄付に変えるカメラ」をウッドワン さくらびあ1階市民ホールに設置した。

同カメラは、AIが自動的に笑顔を検知し、1笑顔を1円として換算して寄付が行われる仕組みを搭載し、設置期間中に検知された笑顔数(842笑顔=842円)は、設置事業者からUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)へ寄付された。G7広島サミット期間中に、国際メディアセンターに実際に展示されたものと同じものを市民ホールに設置し、カメラ利用者にG7広島サミットを身近に感じてもらった。



A Iカメラが笑顔を検知する様子



子どもたちがカメラを体験

(16) 特別企画展「きんぎょ会G7スペシャル～いきてるアートに癒されて～」の開催

令和5年3月18日から6月11日までの間、日本の伝統的な金魚文化の魅力を世界に発信するため、宮島水族館において特別企画展を実施した。

企画展では、飼育員により7品種の金魚を厳選し展示を行った。



宮島水族館での展示



金魚「頂天眼（チョウテンガン）」の展示